

## K I T A 設 立 3 5 周 年 記 念 式 典 を 開 催



理事長挨拶



感謝状の授与

北九州国際技術協力会社（K I T A）は、1980年（昭和55年）の設立から35周年を迎え、2015年（平成27年）6月17日西日本工業倶楽部（北九州市戸畑区）にてK I T A役員・職員等が北九州市梅本副市長、J I C A九州国際センター井崎所長、研修事業及び技術協力事業の協力企業・団体の代表者をお招きし記念式典と祝賀会を開催しました

平成27年6月25日  
 （公財）北九州国際技術協力協会  
 専務理事・事務局長 藤原 直捷

1980年（昭和55年）7月14日、小倉北区毎日会館大ホールで、北九州青年会議所、北九州商工会議所、西日本工業倶楽部の三団体が「財団法人北九州国際研修協会 Kitakyushu International Training Association 略称K I T A」（1992年・H4年に北九州国際技術協力協会と改称）」の設立総会を開き、北九州に蓄積した産業技術の途上国への移転を目指すK I T Aが誕生しました。以来35年間、K I T Aは国際技術移転の歩みを緩めることなく進めてきたところです。その技術移転の範囲は151ヶ国に達し、研修員も8千名に近づいています。スタート時に際しての設立三団体のK I T Aに対する熱い思いと献身的な活動により資金的な基盤が確立され、産学官の協力体制が整備されたことで初動時の活動が円滑に推進でき、その後のK I T A発展の道が切り拓かれました。

古野理事長の挨拶に続いて、所用でご欠席の北九州市北橋市長のご祝辞を梅本副市長にご紹介して頂くとともに梅本副市長ご自身のご祝辞も頂戴し、さらにJICA九州国際センターの井崎所長にご祝辞を頂いて35周年記念式典は始まりました。



古野理事長はK I T Aの近況とK I T A運営基本指針の報告、そして皆様への謝意を表して下記のように挨拶致しました。

「1980年 KITA 発足以来、多くの皆様のご支援とご尽力を頂き、お陰様で35周年を迎えることができたことを心より感謝申し上げます。

KITA 発足以来、我々は、出資団体及び個人 605、研修協力機関 330、そして多くのコースリーダーや講師の皆さんに支えられながら、Volunteer Spirit の元、今日まで活動してまいりました。以来昨年度迄、研修参加国151ヶ国、7,839名の参加を数え、約2,000名の研修員のネットワーク形成に至るまでになりました。まさに北九州市のかけがえのない人的財産となりました。

H24年4月1日より公益財団法人として、再スタートし、透明性、公正性の確保が義務付けられ、公益に供する法人としての性格付が明確化しました。

KITA は、国際研修事業、技術協力、国際親善の 3 事業から構成され、「KITA の財産づくり」と、「KITA らしさ」と「北九州立地の強み」の追求を基本指針とし、この指針に基づいて、2 年に 1 回業務方針を作成し、活動してきました。

今日、事業環境の悪化を踏まえ、KITA マスタープランに着手しています。KITA ブランドの形成として、研修国のニーズ把握、実績把握に基づいたソリューションを提供し Outcome の実現を目指すと共に、地元中小企業のグローバル展開の支援と Win-Win の達成をめざし、収益事業も取り込む方向で、黒字体質化を目指しています。

本日は、これまでのご支援ご協力に感謝するために、感謝状と活動状況 DVD を贈呈させていただきたいと思えます。

最後になりましたが、北九州の、牽いては日本の価値を上げるために、今後ともご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。」

この 35 年間に非常に多くの方々にご多大なるご指導・ご協力を賜りそのすべての方々に感謝の意を表現しなければならないところを、式場の関係でやむを得ず限られた方々に代表してご参列をお願いし、感謝状を理事長からさしあげることになりました。また、記念に作成した K I T A 活動状況 DVD も併せてお受け取り頂きましたが、ご参列の皆様方にはこの式典の時間をお借りして DVD 撮影をご鑑賞頂きました。

K I T A の評議員、理事の役員等を含め約 50 名が参列する狭い式場でありましたが、ご参列の皆様方の暖かい心で会場には式典を祝う雰囲気満ちて、これからの K I T A へのさらなるご支援の力を頂戴できたことに、主催者としては深い感謝の意を新たにしております。



懇親会：乾杯の音頭



35 周年記念 DVD の映写